



令和3年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ～学び喜びにあふれた学校をめざして～

令和4年1月28日

横浜市立高田小学校

2月号

人の思いにふれて

副校長 宮野 雅樹

冬休み明けの初日、前日より降り続いた雪によって学校の周りは真っ白、路面は凍結した風景となりました。わたしの記憶では、横浜でこれほどまで降ったのは、数年ぶりかと思えます。日中は短い時間でしたが、低・高学年で時間を分け、校庭に積もった雪で遊ぶ時間を設けました。校庭で初の雪遊びに、子どもたちが寒さを忘れて駆け回っていたのがとても印象的でした。



1月21日(金)から再び神奈川県に実施された「まん延防止等重点措置」によって、学校での教育活動にも再度制限をかける必要が出てきました。1月20日に予定していた授業参観は、実施期間の直前でしたが感染状況を鑑みて中止させていただきました。本校における児童の感染者数は多くはありませんが、改めて感染防止のための取組を強化していく必要があるかと思えます。また、今後の学校行事についても、止むを得ず中止や開催方法や人数の制限等をかけていくことがありますのでご了承ください。

さて、1月19日(水)には、開催方法等が予定とは変更となりましたが、区内の授業研究会があり、本校では家庭科の授業を公開しました。授業の内容は、6年生の「こんだてを工夫して～家族のためのこんだて～」で、教室で各自がオリジナルの献立を立てるに当たって、どんなメニューにするか、家族のことを思い、食べてもらいたい人を思い浮かべながら考えて表現するというものでした。授業展開には工夫がなされており、事前に保護者の方にご協力していただいた「家庭で食事を作るときに意識していること」のレポート(A4用紙1枚)を初めて読む場面がありました。これには、子どもたちは「いつの間に」「なんかそういえば家で書いていた」など驚きの反応とともに、ご家族が食事を作るときに思い(栄養バランスや量、味へのこだわりなど)に心を揺さぶられていた様子でした。その後の自分が考える献立に関するグループでの意見交換では、「弟が運動をよくするので、栄養バランスの良い献立にしたい」「運動するんだったら、お肉を入れたメニューがいいのでは」「バランスが良くても、美味しいって食べてもらわなければ意味がないから、味を美味しくしたい」など、活発に話をしていました。また、「お姉ちゃんが受験生なので、一緒に食べられる機会が少ない。だから一緒に食べられるときは、お姉ちゃんの好きなメニューにしてあげたい」など、相手意識があり、人のことを思う気持ちが全面に出た発言にとても感心しました。自分のことや相手のことを思い浮かべながら行動していくことは、とても大切なことだと改めて気付かせてくれた授業でした。

今年度4月に着任してから保護者の皆様、地域の方々と出会い、様々な面で大変お世話になりました。特にPTA役員、各委員会の方々には、本校の子どもたちのために、各活動の方法を工夫していただき、連絡調整等にもご尽力いただきまして、頭の下がる思いです。本来ならば、もっと多くの機会でご一緒にお会いできたであろうと思っておりますので、次年度はこの状況が少しでも改善されることを祈っております。2月、3月は、今年度の振り返りをしながら、様々な思いを巡らせて過ごそうと思っております。